

☆☆☆「かしこく やさしく たくましい松っ子」に！☆☆☆

大村市立松原小学校
学校だより

一歩前へ

文責：校長 高木 修
令和3年5月12日 No.3

☆☆☆子どもが「喜んで登校 満足して下校」する学校づくり☆☆☆

◆ 家庭訪問、お世話になりました



4月26日（月）から5月6日（木）まで実施した家庭訪問では、御多用の中、時間をつくっていただきありがとうございました。新型コロナウイルス感染防止の観点から、玄関先での短時間の訪問とさせていただきますが、担任としましては、各御家庭の場所や地域の様子を確認したり、直接、顔を合わせて保護者の皆様と話をしたりすることができ、大変有意義な時間となりました。これからも、学校と家庭の連携を密にとりながら教育活動を進めていきたいと思っておりますので、御不明の点や、お子様のことで気になること等ありましたら、遠慮なく相談ください。



さて、ゴールデンウィークが終了しました。新年度が始まって1か月が過ぎる連休後のこの時期は、新たな気持ちで張り切って過ごしてきた分、疲れが出てくる時期でもあります。

今のところ、本校の子どもたちは元気に登校してくれていますが、そういう時期であることを意識しながら、子どもたちの心のサインを見逃さないようにしていかなくてはいけないと考えています。各御家庭では、日頃から子どもたちの体調管理や励ましの声かけ等をしていただいておりますが、その中で、もしちょっとした変化等を感じたり、何かしらの気づきがあるようでしたら、こちらも遠慮なく相談いただけたらと思います。

どうぞよろしくお願いいたします。

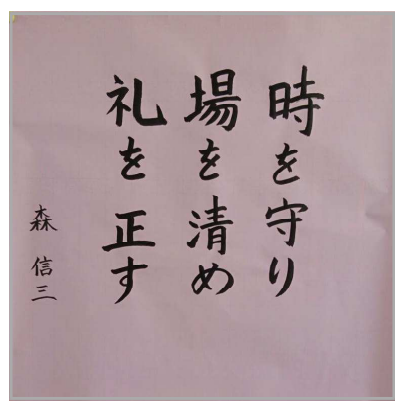
◆ 4年生の教室にて

4年生の教室の背面黑板には、右の言葉が掲示してあります。学級づくりをする上で、こんな子どもになってほしいという、担任の鶴崎先生の思いを感じましたし、いい言葉なので紹介します。

この言葉は、教育学者であり、哲学者でもある、森信三氏の言葉です。「時を守り」とは、時間や期限を守ること。「場を清め」とは、掃除や整理整頓をし、清潔にすること。そして、「礼を正す」とは、挨拶や返事をする事です。時間を守ることは相手の時間を大切にすることで、結果として相手を尊重することにつながります。掃除や整理整頓には、「気付く人になれる」「心を磨く」「謙虚になれる」「感動の心を育む」「感謝の心が芽生える」という5つの意味があります。挨拶は相手の人に心を開くということで、人間関係を構築する基本です。返事も同じで、気持ちの良い返事をすれば人間関係が良くなります。

こういった意味を踏まえると、「時を守り 場を清め 礼を正す」と読むだけで背筋がピンと伸びる気がしてきます。生活する上でとても大切な心構えが、たった12文字の中に凝縮されています。

4年生の皆さん、いい言葉を教わりましたね。



◆ イカの刺網漁体験と種苗放流体験

本校の5、6年生は、総合的な学習の時間に「私たちの海について知ろう」という学習に取り組んでいます。その一環として、5月11日（火）に、大村市の農林水産振興課と大村市漁協松原支部の皆様の協力のもと、標記体験をさせていただきました。思ったより早く天候が悪くなってきたため、松原海水浴場のゴミ拾いはできませんでしたが、イカ漁とカサゴの稚魚の放流は、予定通り体験することができました。貴重な体験をさせていただいた上に、獲れたイカも、さばいたものをお土産としていただき、子どもたちも満足していたようです。

「漁業」という仕事の内容を知るよいきっかけにもなりました。



◆ 交通安全教室

4月23日（金）に1～3年生、そして、5月11日（火）に4～6年生の交通安全教室を開催しました。両日とも、松原駐在所の平野さんと、交通安全協会の古賀さん・池田さんに来校いただき、1～3年生は、横断歩道の渡り方を、4～6年生は、自転車の乗り方を中心に指導していただきました。「自分の命は自分で守る」という意識をもち、交通事故にあわないよう、安全な歩行、安全な自転車走行を心がけてほしいと思います。



「松っこの約束」より

◎ 自転車に乗るときは、次のことを守りましょう。

- ・ヘルメットをかぶりましょう
- ・二人乗りは絶対にしません
- ・道路を渡るときや、曲がり角では、必ず止まりましょう
- ・乗っていいところ

低学年：家の周り

中学年：地区内

高学年：校区内

※自転車は定期的な点検も必要です。

安全確認の合言葉は「フタバベルサハラ」です。

「フ」	…	フレーキ
「タ」	…	タイヤ(空気圧)
「ベル」	…	ベル
「サ」	…	サドル(高さ)
「ハ」	…	ハンドル
「ラ」	…	ライト